

日本マンガ学会

2019
6

第19回大会

23 22

土 ◆ 研究発表・総会

熊本大学 文学部棟(本館、B講義棟)

日 ◆ シンポジウム

熊本大学 文学部本館

第1部
歴史編

川崎のぼる(マンガ家)

成瀬正祐(資本研究者)

橋本博(合志マンガミュージアム館長)

宮本大人(明治大学准教授)／司会

第2部
現在編

みなもと太郎(マンガ家)

岡田屋愉一(岡田屋鉄蔵)(マンガ家)

大柿ロクロウ(マンガ家)

吉村和真(京都精華大学教授)／司会

22日 参加費

会員……………1000円

一般……………2000円

学生……………500円

(要学生証提示、学部生以下)

▼懇親会(事前申込制)

会員一般共通:3000円

▼合宿座談会(会員のみ)

……………1000円

23日 参加費

会員……………1000円

一般……………2000円

学生……………1000円

(要学生証提示、学部生以下)

主催 日本マンガ学会
共催 熊本大学文学部
協力 合志マンガミュージアム

シンポジウム
時代を超える

時代劇

時代劇は、戦前から、舞台、映画、テレビ、そして漫画においても数多く描かれてきました。子供たちのチャンバラごっことしても広く親しまれ、海外からみた日本のイメージにも大きな影響を与えています。しかしその表現は、時代とともに移り変わってきました。本シンポジウムでは、マンガにおける時代劇の歴史をたどるとともに、作家を中心に、現代の時代劇についても語り合います。

本イベントは
マンガ学会会員で
なくとも参加
できます



12:00~12:45 参加受付 12:45 開会宣言

研究発表	第1会場 A1教室(本館)	第2会場 A2教室(本館)	第3会場 A3教室(本館)	第4会場 B2教室(B講義棟)	第5会場 B3教室(B講義棟)
13:00 ▼ 13:30	SF少女マンガにおける「フランケンシュタイン」の行方 —80年代前後のSF少女マンガにおけるロボット=人造人間像と「生殖」に対する想像 孫旻喬 (名古屋大学大学院)	〈伝記学習マンガ〉の表現構造の変遷 —マリリー・キュリー伝を事例として 伊藤遊 (京都精華大学国際マンガ研究センター) / 山中千恵 (京都産業大学) / 瀧下彩子 (公益財団法人東洋文庫)	昭和の貸本屋 所在地調査の方法 —熊本の貸本屋マップ作成から見てきたもの 鶴本市朗 (くまもと文学・歴史館)	オノマトペ翻訳におけるビジュアル効果の翻訳 —オノマトペ翻訳から見るマンガの中のオノマトペ効果 大塚萌 (千葉大学)	「三国志演義」翻案マンガにおける「明光甲」考 —鎧甲の腹部から胸部へ 清岡天津夫 (NPO三国志フォーラム)
13:40 ▼ 14:10	女性の近代的自我の芽生えと少女マンガの物語構造 —眼鏡を再びかけ直すことの弁証法的意味 編殿篤 (東京家政大学短期大学部)	日本事情科目の課題としての4コママンガ創作 —短期留学生を対象とする指導法の研究 池澤明子 (西南学院大学)	大学コレクションとしてのまんがアーカイブズの管理と利用 —オハイオ州立大学とケント大学を事例として 蓮沼素子 (大仙市アーカイブズ)	英米コミック効果音(エコミメティカ)和訳の技法 —フランク・ミラー「ダークナイト リターンズ」を事例として 井島ワッシュバーン バトリック (熊本学園大学)	手塚治虫が監修した未来表象人型ロボット —大阪万博フジパン・ロボット館ロボットと静岡科学館ロボットの成立過程の比較 藤吉隆雄 (国立情報学研究所)
14:20 ▼ 14:50	高橋真琴の少女像と少女マンガ文化 松尾昌子 (東京工芸大学大学院)	中国大学の漫画教育におけるバンド・デシネの実践について —異文化の漫画教育に関する実践と考へ 羅榕榕 (南京工業大学)	戦争・マンガ・アニメ・記憶 —戦争マンガから戦争アニメへの変容と戦争記憶へのインパクト アルト・ヨアヒム (北海道大学大学院)	マンガを活用して歴史への関心を高めるために —歴史に関する学習マンガのケーススタディー ベナ・ノピアングラ デュイ ラハコ (京都精華大学大学院)	マンガ-舞台間のアダプテーション —宝塚歌劇『ポーの一族』の事例から 秦美香子 (花園大学) / 西原麻里 (愛知学泉大学) / 増田のぞみ (甲南女子大学) / 山中千恵 (京都産業大学)
15:00 ▼ 15:30	少女漫画における毒母 岡崎友紀 (日本女子大学大学院)	マンガを活用した言語教育 —コミック文化の活用法 早野慎吾 (都留文科大学)	「クレイジー・キルト」におけるモダニズム絵画の影響 —コミック・ストリップはアーモリー・ショウにいかにかん応したか 鶴田裕貴 (東京大学大学院)	マンガ読解とストーリーの予想/予感される物語 —グループインタビューの分析結果から 足立加勇 (東京造形大学) / 池上賢 (立教大学)	形、線、背景 —マンガのアニメ化におけるスタイルの変換 コピローフ・オーリガ (東北大学)
15:40 ▼ 16:10	大島弓子「バナナブレッドのプディング」試論 高石凌馬 (学習院大学大学院)	地域×デザイン×マンガ教育の可能性 —崇城大学マンガ表現コースでの取組を事例に 小川剛 (崇城大学)	日本のマンガ、アニメの国際展開について —予備調査を終え今後の展開について 池田雄亮 (龍谷大学大学院)	マンガの読みの視線行動と読み手の共感性の関連 和田裕一 (東北大学) / 三浦知志 (尚絅大学) / 窪俊一 (東北大学)	ラウンドテーブル グラフィック・メディスンと医療マンガ研究 —海外マンガ研究の学際的な言説をマンガ研究に応用する可能性 中垣恒太郎 (司会 専修大学) / 安達映子 (立正大学) / 小林翔 (一般) / 落合陸志 (デイスカサット 日本グラフィック・メディスン協会)
17:00 - 18:00 18:30 - 20:00 21:00 - 23:00	総会 懇親会 合宿座談会	会場 >>> 熊本大学文法学部本館 A1教室 会場 >>> 熊本大学くすのき会館レセプションルーム…会費3,000円(会員・一般共通) 会場 >>> コワーキングスペース未来会議室…会費1,000円(会員のみ)			

6月24日(月)合志マンガミュージアム等
エクスカーションツアー ※要事前申し込み
申込先などはHP参照 <https://www.jsscc.net>

ファミリー
休憩室あり
言語学学生研究室(4階)



9:30 ~ 10:30 シンポジウム参加受付

時代を超える時代劇

シンポジウム	第1部 ◆ 歴史編	第2部 ◆ 現在編
10:30 ▼ 12:30	川崎のぼる [マンガ家] 成瀬正祐 [貸本研究者] 橋本博 [合志マンガミュージアム館長] 宮本大人 [明治大学准教授] / 司会	みなもと太郎 [マンガ家] 岡田屋愉一 [岡田屋鉄蔵][マンガ家] 大柿ロクロウ [マンガ家] 吉村和真 [京都精華大学教授] / 司会
12:30 ▼ 14:00	屋休み / ポスター発表 会場 >>> 非常勤講師控室	「冒険ダン吉」に描かれている南洋群島の人々 —描写・言葉選び・ストーリーに着目して 會田篤敬 (岩手大学)
14:00 ▼ 16:00		
16:00	閉会式	

会場アクセス (詳細はHP参照)

熊本空港(阿蘇くまもと空港)から
リムジンバス・熊本駅行き→「通町筋」で途中下車→(徒歩で水道町バス停まで移動)→「水道町」から産交バスで楠園地行き、光の森産交行き(子飼橋経由)乗車→「熊本大学前」下車

JR熊本駅から
産交バス: 楠園地行き、光の森産交行き(子飼橋経由)「熊本駅前」乗車→「熊本大学前」下車
市電+産交バス: 市電の健甞町行きに乗りし「水道町」で下車。上記産交バスへ乗換

交通センター(=バスターミナル)から
産交バスで楠園地行き、光の森産交行き(子飼橋経由)「熊本大学前」下車

